

## 協定留学近況報告書

記入日	2016年 11月 10日
留学先大学	リヨン第三大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語):法学部, (現地言語での名称):Faculté de Droit</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2016年8月－2017年8月
明治大学での所属	___学部___学科___専攻 / 法学研究科民事法学専攻
学年(出発時本学での学年)	学部 年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程3年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

フランスやその他の国に留学経験のある先生方や先輩に話を伺いました。また、数年前に個人でパリの語学学校に2週間通い、大学寮暮らしを経験していたことが、非常に役立っています。できれば、長期留学の前に、一度その国に行ってみると良いと思います。準備不足だったことは、数え切れないほどありますが、やはり総合的な語学力(聴く、話す、読む、書く)をもっと磨いておくべきだったと痛感しています。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類:学生ビザ(3ヶ月以上)	申請先:在日フランス大使館
ビザ取得所要日数:1週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:Campus France 手続き料金 15,000 円+ビザ申請料金 50 ユーロ相当の日本円

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか?また、どのように手配しましたか?

Campus France オンライン登録…証明写真、身分証明書(パスポート)、入学許可書、大使館でのビザ申請…長期ビザ申請書、証明写真、パスポート、入学許可書、経済証明(フランスで引き出し可能な日本の銀行またはフランスの銀行による、円建てまたはユーロ建ての銀行残高証明書)、移民局(OFFI)提出用フォーム  
 ※在日フランス大使館ホームページ参照。銀行口座残高証明書は、SMBC 信託銀行プレステリア(旧シティバンク)のものを提出しました。

具体的な申し込み手順を教えてください。

5月に Campus France のオンライン登録をしてから、7月初めに在日フランス大使館でビザを申請しました。交換留学生の場合、毎週水曜日の10時から11時30分の時間帯であれば、予約なしでも学生ビザの申請を行うことが出来ました。ただし、7月は非常に混雑し、1時間以上待ちました。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか?

交換留学生は、面接が免除されました。

ビザ取得に関して困った点・注意点

Campus France のオンライン登録の際、入力ガイドどおりに操作が進まず、メールで Campus France 事務局に問い合わせました。すぐに返事が届き登録することができました。

### II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

現地での資金は、クレジットカード(予備も用意)と現地のATMで引き出せる銀行口座(SMBC 信託銀行プレステリア(旧シティバンク))のキャッシュカードを用意しました。クレジットカードに関しては、利用限度額の設定を確認し、低めの設定であれば設定変更あるいは予備のカードを持っていくことをお勧めします。とくに、最初の1ヶ月は、生活資金などで何かと出費がかさみます。

また、渡航時の荷物はなるべく少なくし、後日、両親に日本から物資を送ってもらいました。利用した運送会社は、クロネコヤマトの「留学宅急便」です。運送料は割高ですが、自宅への配送前に配達日などを日本語で電話相談することができ、安心です。

### Ⅲ. 現地到着後のながれ

#### 1. 到着時の様子

利用航空会社	JAL 国際線(羽田国際空港→パリ・シャルルドゴール空港)			
航空券手配方法	JAL の「学生ロングステイ7」を利用。30 歳未満の学生対象、出発の日から 3 ヶ月以上 12 ヶ月以内に、無料で 2 回まで同一区間の復路の便を変更できるチケットです。			
大学最寄空港名	大学最寄空港はリヨン・サンテグジュペリ空港ですが、私は、パリ・シャルルドゴール空港→TGV でリヨン・パールデュール駅到着	現地到着時刻	12:00	
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー パールデュール駅からタクシーでホテル→徒歩で大学
移動の所要時間	パリ・シャルルドゴール空港からリヨン・パールデュール駅まで TGV で 2 時間、パールデュール駅からリヨン第三大学までタクシーで 15 分ほど			

#### 空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

一人で重い荷物を持って移動する際には、時間に余裕をもち、近い距離でもタクシーを利用しました。

大学到着日	8月29日9時頃
-------	----------

#### 2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか？	<input type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方:8月29日から入居可能だった。
	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	※現地で交渉したらそれ以前に入居できた人もいます
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他( )	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他( )	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	リヨン第三大学から住居の斡旋に関するメールが届き、その手順にしたがって申し込みました	

#### 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

リヨン第三大学による住居斡旋は、簡便でとくに問題もありませんでした。私は、申込サイトオープン当日に申込み、第一希望の住居への入居が決まりました(第三希望まで入力できました)

#### 3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	8月29日~9月2日
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input type="checkbox"/> 無料 <input checked="" type="checkbox"/> 有料(金額:160ユーロ)
内容と様子は？	全体ガイダンス、学部ごとのガイダンス、フランス語、フランス文化、懇親会、パブ体験などに加え、さらに追加料金で各学部の入門講義もあり、たくさんのプログラムが用意されていました。正規の講義開始前に大学の雰囲気になじみ、知り合いをつくるためには有用だと思います。一方で、入国後の様々な手続きに追われるなか全てのプログラムに出ることは難しく、また、その後の学力に明確な差がつくわけではないと思います。

留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月5日から
<b>IV. その他、渡航してから必要な手続きについて</b>	
<b>1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？</b>	
<p>長期学生ビザを滞在許可書としての効力をもたせるため、移民局(OFFI)での手続きが必要。3ヶ月以内に行わなければならない。入国後、ビザ申請時に渡された OFFI 提出用フォームに必要事項を記入して、パスポートの顔写真、入国日の押印、ビザのページのコピーとともに、郵便局で書留受領証付にて管轄の OFFI に送付。その後、OFFI から呼び出し状が届き、指示された日に OFFI に行く。その際には、OFFI からの呼び出し状、パスポート、住居証明書、手続き料金支払いに必要な印紙を持参。OFFI で書類記入、健康診断を経て手続きが完了。……らしいです。</p> <p>ですが、私の場合、9月7日に OFFI に必要書類を郵送しましたが、まだ、「呼び出し状」が届かず、滞在許可書を得られていません。8月中に申請した人は、比較的すぐに呼び出し状が届き、すでに OFFI での手続きを終えているようです。OFFI への書類郵送は、なるべく早く行くことをお勧めします。</p>	
<b>2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？</b>	
健康診断は、移民局(OFFI)で行うようです。	
<b>3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？</b>	
BNP PARIBAS で口座を開きました。オリエンテーション期間中、大学構内に BNP PARIBAS の出張所があり、そこで申し込みました。パスポート、在学証明書、住居証明書を提出し、2週間ほどで口座が開設されました。	
<b>4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？</b>	
携帯電話本体を fnac で購入し、free の月 19.99 ユーロの SIM カードを購入して使用しています。	
<b>V. 履修科目と授業について</b>	
<b>1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？</b>	
<input type="checkbox"/> 出発前に( 月 日頃) <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他( )	
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後に(9月25日頃) <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他( )	
登録時に留学生として優先されることは	<input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？	
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？	
大学のポータルサイトを通じて登録しました。登録方法については、留学生向けオリエンテーションでの学部ごとのガイダンスで説明がありました。9月29日が登録期限で、それまでは様々な講義を試すことができました。	
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？	

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00	FLE テスト勉強						
11:00	"						
12:00							
13:00		大学図書館、公共図書館等で資料収集	大学図書館、公共図書館等で資料収集	法制史予習	E-learning 授業 (法学メソロジー)	美術館	論文執筆
14:00	授業(FLE)	"	"	"	"	"	"
15:00	"	"	"	"	"	買い物	"
16:00	"	"	"			"	"
17:00	FLE 復習	"	"	授業(法制史)		"	"
18:00	"			"			
19:00	"			"			
20:00					法制史復習	FLE 宿題	FLE 宿題
21:00		論文執筆	論文執筆	論文執筆	"	"	"
22:00		"	"	"	"	"	"
23:00		"	"	"			
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

リヨン第三大学での授業に関しては、法学部は他学部と多少取り扱いが異なります。まず、協定留学生はゼミ形式の講義(TD)を履修することができないとされています。したがって、大講義(CM)のみ履修しています。また、ディプロムを取得するためには、全留学生必修のフランス語(FLE)、フランス文化に加えて、フランス法入門、法学メソロジーの授業が必修となっています。授業開始やバカンスの時期も他学部と異なることがあります。

なお、留学生向けのフランス語(FLE)の授業は、クラスにもよるのかもしれませんが、私が受講しているクラスでは、座学の文法問題中心です。ですので、より実践的な会話・議論やフランス人学生との交流を求めるならば、他学部のゼミ形式の講義(TD)を受講したり、フランス人との交流パブに行ったり、あるいは大学以外に語学学校に通うなど、自ら積極的に行動することが求められると思います。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

当然のことかもしれませんが、フランス語力の向上は、できる限り行うことを強くお勧めします。協定留学の応募に必要な検定試験のレベルを取得したことに満足せず、継続的なフランス語学習が大切だと思います。その際には、「聴く」「話す」「読む」「書く」能力を総合的に習得するように心がけてください。現地での生活では、どれも欠かすことができません。私は、これまで主に研究で使用する資料を読解することに時間をかけていたため、会話や記述が非常に苦手で、日常生活や授業の理解に支障をきたしています。

また、大学の授業を受講するという観点からは、とくに「書き取り(ディクテ)」能力を高めると良いと思います。それも、できれば、パソコンでフランス語の書き取りができるようになっていくのがとてもラクになると思います。法学部の大講義は、板書も教科書もレジュメも使用せず先生がひたすら講義する形式が多く、フランス人学生はみな先生が話す内容をパソコンで書き取っています。そして、それが試験のためのテキストになるようです。